



管理の概要

- [Cisco Unified Real-Time Monitoring Tool \(1 ページ\)](#)
- [オペレーティングシステム サポート \(2 ページ\)](#)

Cisco Unified Real-Time Monitoring Tool

Cisco Unified Real-Time Monitoring Tool はクライアント側アプリケーションとして実行し、システムコンポーネントの動作をリアルタイムで監視します。Unified RTMT は Hypertext Transfer Protocol Secure (HTTPS) および Transmission Control Protocol (TCP) を使用し、次の項目を監視します。

- システムのパフォーマンス
- デバイスのステータス
- デバイスの検出
- コンピュータ テレフォニー インテグレーション (CTI) アプリケーション

Unified RTMT は、HTTPS を使用してデバイスに直接接続し、システムの問題をトラブルシューティングできます。



-
- (注) Unified RTMT がデスクトップ上のアプリケーションとして動作していない場合でも、アラームやパフォーマンスモニタリングの更新などのタスクは、サーバ上でバックグラウンド処理として続行されます。
-

RTMT を使用すると、次の作業を実行できます。

- システムの健全性を監視するための、事前に定義された一連の管理オブジェクトを監視する。
- 値がユーザ設定のしきい値を超えるか下回ったときに、オブジェクトのさまざまなアラートを電子メールメッセージ形式で生成する。

- トレースを収集し、Unified RTMT に備わっているさまざまなデフォルト ビューアで表示する。
- SysLog ビューアで syslog メッセージを表示する。
- パフォーマンス モニタリング カウンタと連動する。
- シスコ・ユニファイド・コミュニケーション・マネージャのみ：Q931 メッセージを変換する。

コンピュータにインストールされている Unified RTMT の 1 つのコピーを使用すると、複数のサーバまたは複数のクラスタを同時に監視することができます。たとえば、次のエンティティをすべてモニタできます。

- 1 台のサーバー上の Cisco Unified Communications Manager 製品。
- 1 台のサーバー上の IM and Presence Service 製品。
- 1 台のサーバー上の Unity Connection 製品。
- クラスタ上のサーバー（クラスタの健全性をモニタするため）。

オペレーティングシステム サポート

RTMT は、次のオペレーティングシステムのいずれかを実行しているコンピュータにインストールできます。

- Windows 8
- Windows 10
- Windows 11
- Windows 2019
- Linux マシンにインストールされた KDE または GNOME クライアントを使用した Red Hat Linux のインストール。



(注) Windows 10 以降の場合は、Unified RTMT を [管理者として実行 (Run as administrator)] モードで起動する必要があります。そうしない場合、ユーザアクセスコントロール (UAC) 権限が無効です。

Unified RTMT をインストールする場合は、次のことを考慮してください。

- Windows OS プラットフォームで Unified RTMT を実行するには、少なくとも 128 MB のメモリが必要です。
- Windows OS プラットフォームで Unified RTMT を実行するには、少なくとも 300 MB のメモリが必要です。

- Unified RTMT は、32 ビットおよび 64 ビット Windows プラットフォーム上で動作します。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。